

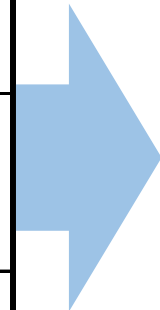
### H30年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 ( I P P O あじろ園 ) 作成日時 ( 平成 30 年 10 月 10 日 )

代表	施設長	本部
風間	岩崎	田中

H29年度 改善への取り組み	
今年度の施設目標	<b>緊急・防犯・感染症マニュアルの施設全体への確認と周知</b>

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の人数であればスペースは適切。(一日利用者10名程度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の配置数と、利用定員</li> <li>バリアフリーの配慮 (室内やトイレの段差・階段)</li> </ul>
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修の機会の確保</li> </ul>	P D C A サイクルに、多くの職員の参加 保護者へのアンケート調査 第三者による外部評価
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの立案を担当チームで決め、固定化しないようにしている</li> <li>支援開始前の職員間の打ち合わせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援終了後の職員間での打ち合わせ</li> <li>日々の支援の記録、支援計画に沿った支援内容のばらつきがある</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>併用している、保育園や幼稚園との情報共有 (保護者さんの承諾の元)</li> <li>ドクター、専門医との、定期的な連携会議</li> <li>専門医との、発達検査結果の面談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園・幼稚園の健常児との交流する機会がない。</li> <li>年に1度の隣接する学校との交流だけでは少ない。</li> </ul>
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報への配慮</li> <li>活動内容や、次の月の行事内容を、月に1回のおたよりで情報伝達を行っている</li> <li>保護者からの子育ての悩みなど、電話や面談などを通して助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会や・保護者向けのイベントの開催が少ない</li> <li>ブログなどでの発信がない</li> </ul>
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度初めに、服薬・予防接種喉の記録の再提出をしている。</li> <li>面談の際、保護者には身体拘束については説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルは、どれも不十分で、周知しきれていない。(緊急・防犯・感染症)</li> <li>ヒヤリハットのファイルはあるだけになっている。</li> <li>身体拘束について、安全の配慮が入っていない。</li> </ul>



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間のチームワーク</li> <li>子供一人一人の、連携施設との密な情報共有</li> <li>国際福祉大学病院の、ドクター・S T ・O T ・熱海市と保護者との連携</li> <li>月1の、発達相談員による発達検査</li> </ul>

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や一般園との連携が少ない</li> <li>保護者同士の交流する場が少ない</li> <li>ブログの更新</li> <li>マニュアルは作っただけになっている (緊急・防犯・感染症)</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や一般園との連携が少ない・・・子育て支援センターや図書館など地域の子供たちとの交流を図ったり、地域の行事に参加する機会を設ける (避難訓練・祭り・など)</li> <li>保護者同士の交流する場が少ない・・・保護者のニーズに合わせた、保護者同士の交流の場所提供や機会を作っていく</li> <li>ブログの更新・・・保護者のニーズがあるので、定期的にブログの更新に努める。</li> <li>マニュアルは作っただけになっている・・・もう一度、全体での確認と、年に1度必ず再確認をしていく。(緊急・防犯・感染症)</li> </ul>

自己評価を行っての事業所としての感想など
改めて評価してみると、地域との連携やマニュアルの再確認など足りないところに気付くことが出来ました。来年度のセンター開設にむけて、まだまだ足りない事ばかりですが、まずは緊急時の対応について年度内には周知徹底を図りたいと思います。また、熱海市在住の児童限定のセンターのため、行政や医療機関、市内幼稚園・保育園と密に連携できる (できている) 最大の強みを生かし、地域で暮らす障害を持つ児童やその保護者の支援の要となれるよう一歩一歩積み上げていきたいと思っています。

来年度の施設目標	<b>地域に根ざしたセンターへの第1歩として、私たちの取り組みを地域の人に知ってもらう機会を意識的に作っていく</b> <b>フレームワークに沿った支援計画の支援内容の共通理解を深め、個々の自立につなげていく</b>
----------	---